

国産自然農法 交配種

ナス 黒小町

蒔く時期 ▶ 2月～4月
収穫時期 ▶ 6月～10月

特徴

高温期の果皮の退色が著しく少なく、果形は長卵形で果皮のつやがよいナスです。草勢強くたくさん採れ、露地栽培に向いています。

育て方

【用土】

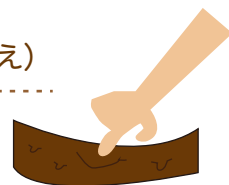
- 深根性で土壌や肥料条件への反応が鈍感なため、過湿・過乾燥など極端な悪条件でなければ栽培の失敗は少ないです。



【植え付け】 発芽適温：20～30℃

栽培適期：春まき（育苗）、遅まき（梅雨ごろ種まき→盛夏の苗植え）

- 定植はウネ間120cm程度、株間65～70cmの1条植を目安とし、栽培期間の短い寒冷地では、やや密植にし、温暖地では粗植にします。



【水やり】

- 盛夏期は、適宜かん水を行って土壌水分を保ち、草勢の維持に努めましょう。

【追肥】

- 収穫を開始してから2週間に1回程度、ボカシ肥を一株当たり手のひらで軽く一握り位、敷き草の上から施し、かん水や敷き草を追加して効かせるようにします。
- 追肥のやり過ぎには注意が必要です。

【収穫】

- 一番果は80～100g程度のやや小さめの果実で収穫し、二番果以降に徐々に品種本来の大きさに収穫するようにしましょう。

【管理・栽培のポイント】

- ナスは高温性作物（適温22～30℃）なので、十分に地温が確保できる時期を「ナスの旬」と考えて栽培することが重要です。

【病害虫】

タバコガ、
フキノメイガ
など